

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理

(1) 法令遵守に沿った業務管理の継続

前年度の事業管理者研修を踏まえて、日常的な業務管理体制を維持継続する。

(2) 業務整理

上記(1)の業務管理を踏まえたうえで、重層的に増大している業務の整理を検討・実施する。(手順の整理や会議の進め方、記録方法等)

(3) 利用者記録管理としての家族支援システムの活用

個人情報保護、法令遵守を踏まえた家族支援システムを活用する。そのために事業の現場、事務局、開発相互に、課題・情報の速やかな共有を図る。

(4) 収支状況の改善

稼働率等の収入、人件費、事業費、事務費など収支全般を精査し、単年度黒字化を図る。

2. 各事業、施設としてのサービスの向上

(1) 改めてサービスの原点に立ち返る

利用者・家族が連雀の各事業を利用して「よかった、安心した」と感じてもらえるような援助を意識して取り組む。おいしく食べられる、ぐっすり眠れる、快適に排泄できる等、人間の生活の根本を意識して援助にあたる。

(2) 地域包括ケアを軸とした、神田事業所各事業の連携

千代田区において 27 年度第 6 期計画で高齢者サポートセンターを中心とした在宅支援体制の確立が目指されていることを見据えて、神田事業所において各事業相互にサービスの質を高めていくような連携を目指す。

(3) 神田事業所 10 周年

10 周年を機に、千代田区における神田事業所の立ち位置を再認識するなかで、ボランティア受け入れを見直し再構築する等の取り組みを行う。

(4) 神田エリア事業再編の取り組み

地域ニーズを反映した神田における事業の再編成を、神田事業所の岩本・連雀総体として検討・具体化する。

3. リスク管理

(1) 日常的な感染症予防と発生時の迅速かつ適切な対応

(2) 防災意識の向上および防災訓練の質の向上、また台風、大雪等自然災害に対する備えの見直し

4. 建物管理

24 年度に実施した建物診断の結果を踏まえて、法令遵守、リスク管理の観点から 26 年度の修繕計画を策定し、財務状況に照らし合わせて計画的に実施する。また日々の設備状況や設備点検の結果から、年間を通して修繕計画を見直していく。

施設の取組

1. サイボウズ運用の見直しを受けて、情報の適切な管理・共有を確立

2. 利用者の生活環境、職員の職場環境としての施設の環境整備

3. 教養娯楽活動の工夫・充実

4. 適切な人員配置を踏まえたうえで欠員に対する速やかな補充、特に家事パートおよび夜勤看護師配置の安定化